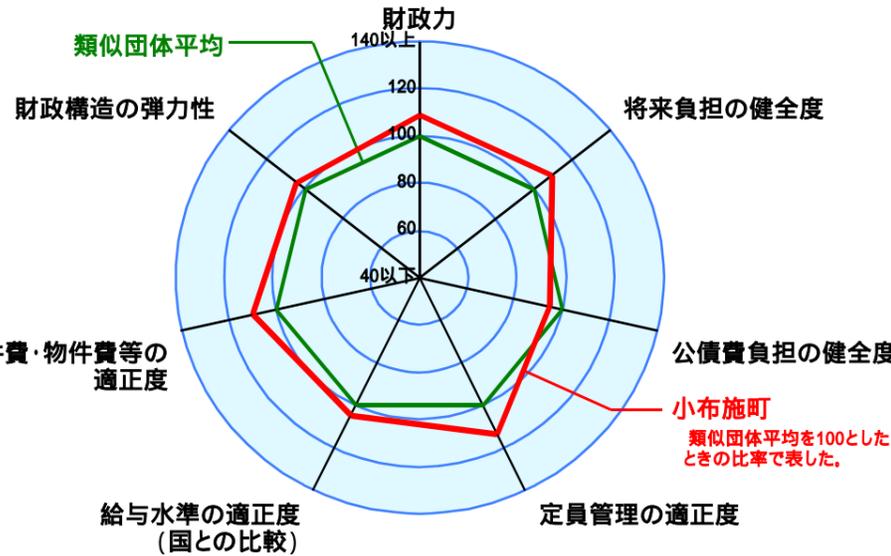
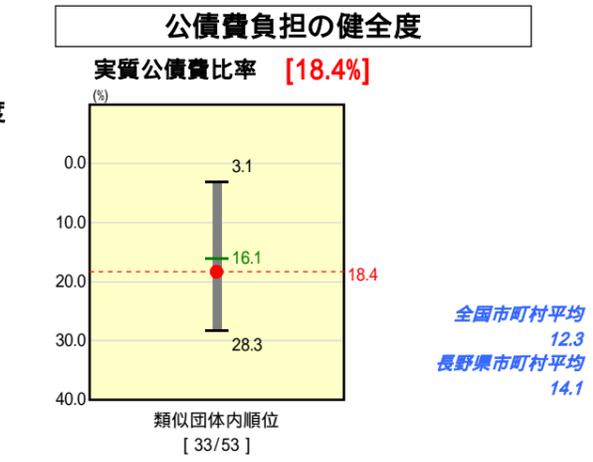
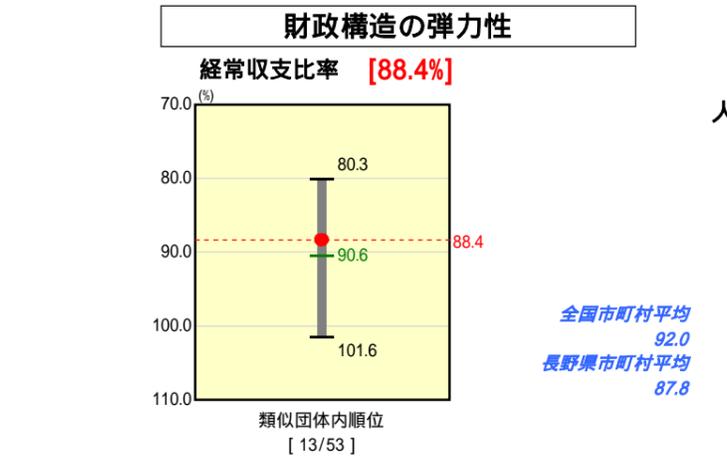
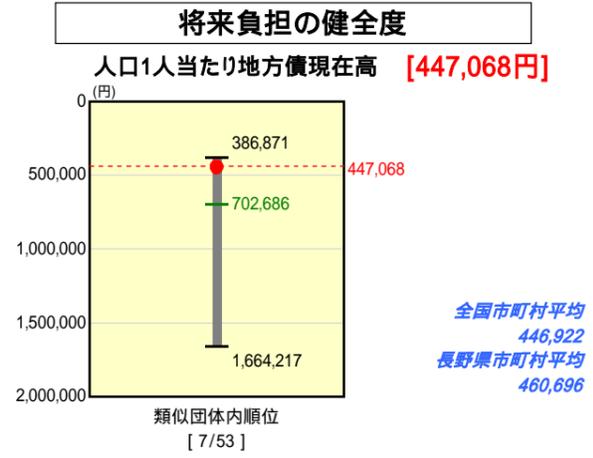
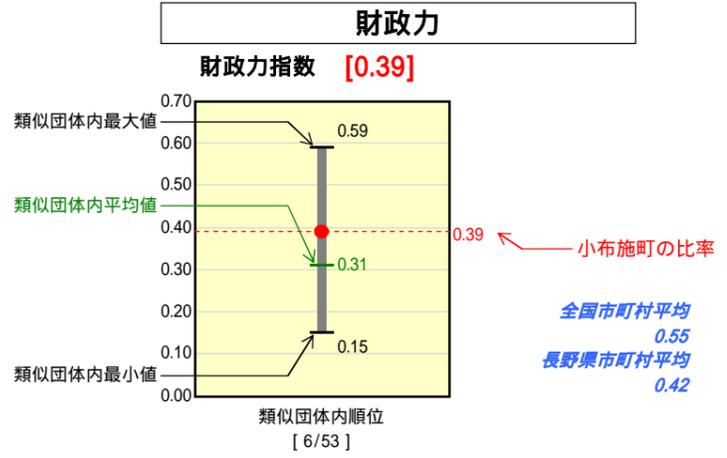


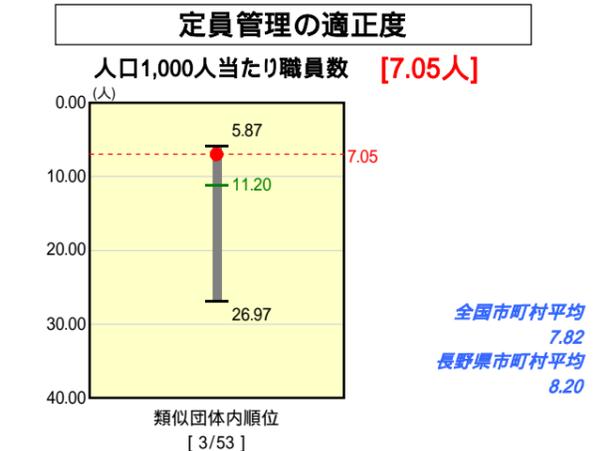
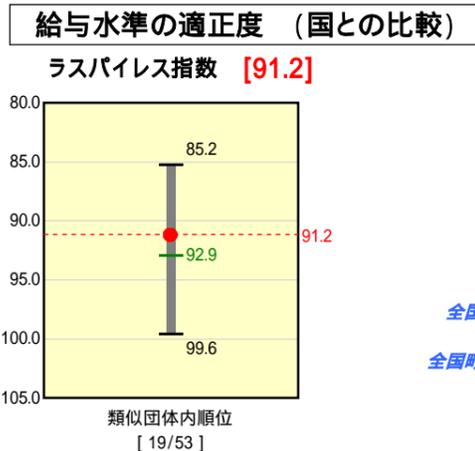
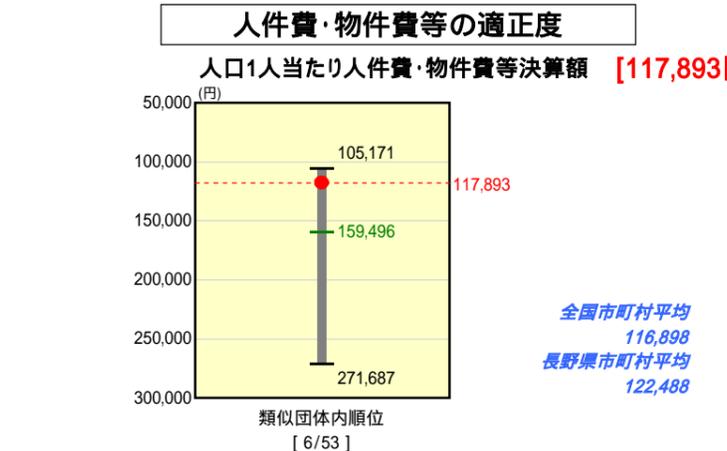
市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

長野県 小布施町

人口	11,629	人(H20.3.31現在)
面積	19.07	km ²
歳入総額	4,247,531	千円
歳出総額	3,957,238	千円
実質収支	237,728	千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。
平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。
ラスパイレス指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

【財政力指数】…前年度と同数値であり、類似団体の平均を上回っているものの、今後は景気悪化の影響等から町税等の減少が見込まれる。地域産業の活性化を促進し、基幹税目の増大を図り、歳入の確保に努める。
【経常収支比率】…人件費の抑制、公債費の減少等から前年度よりも0.6%改善し、類似団体の平均を下回っている。今後少子高齢化の影響で、さらなる扶助費の増加が予想されるため、単独事業の見直しを進めるなど経常経費の抑制に努める。
【人口1人当たり人件費・物件費等決算額】…人件費の抑制により類似団体の平均を大きく下回っているが、施設や設備の老朽化が進んでおり、維持修繕費が増加することが予想されるため、今後もコスト削減に努める。
【ラスパイレス指数】…類似団体の平均と比較して低水準が続いている。職員の意欲と資質の向上のため、人事評価制度の導入や組織の見直し、職員研修の充実を図る。

人口1人当たり地方債残高…類似団体の平均と比較すると低水準となっている。今後も建設事業による大規模な借り入れを予定していないことから、地方債残高はさらに減少していく見込みである。
【実質公債費比率】…前年度より0.4%改善したものの、地方債の発行に許可が必要となる18%を超え、類似団体平均も上回っている。これは先行的に生活基盤の整備に取り組んだ結果であり、平成20年度までは18%を超える見込みであるが、それ以降は公債費の減少に伴い、18%を下回る見込みである。
【人口1,000人当たり職員数】…平成16年に策定した「自立に向けた将来ビジョン」に基づき、職員の削減を行ってきた結果、類似団体平均を大きく下回っている。急激な人員の削減により住民サービスが低下することのないよう、計画的な職員採用を行うとともに、組織や事務事業の見直しを図り、適正な人員管理に努める。